

参加費無料 **定員 500 名** **オンライン開催 (Zoom)**



公式 HP にて事前参加登録 ▶ 11/15 月 受付開始

<https://www.weather-eye.jp/event/weye2021.html>

配信 URL: 事前参加登録者に別途電子メールでご案内

基調講演 13:05-14:40

「鹿児島空港周辺の火山活動と管制業務について」

末永 基 氏

(国土交通省航空局交通管制部管制課)

「小松空港における冬季雷の影響と

地上用雷電探知装置を用いた予測」

鈴木 智幸 氏

(航空自衛隊航空気象群)

「気象レーダーの活用と空港除雪の効率化を目指して」

中澤 正博 氏

(北海道エアポート株式会社総合企画本部空港計画部)

一般講演 15:00-16:55

株式会社ウェザーニューズ

北海道大学大学院理学研究院

メトロウェザー株式会社

山田技研株式会社

宇宙航空研究開発機構 (2 件)

2021.12.14 **火**

第
6
回

WEATHER-Eye オープンフォーラム

後援 / 協賛 国土交通省、文部科学省、CARATS、航空交通管制協会、電気学会、土木学会、日本ガスタービン学会
日本機械学会、日本気象学会、日本技術士会、日本光学会、日本航空宇宙学会、日本航空宇宙工業会
日本航空機操縦士協会、日本航空技術協会、日本雪氷学会、日本複合材料学会 (すべて予定)

主催 / お問い合わせ 気象影響防御技術 (WEATHER-Eye) コンソーシアム事務局 info@weather-eye.jp



気象影響防御技術

WEATHER-Eye

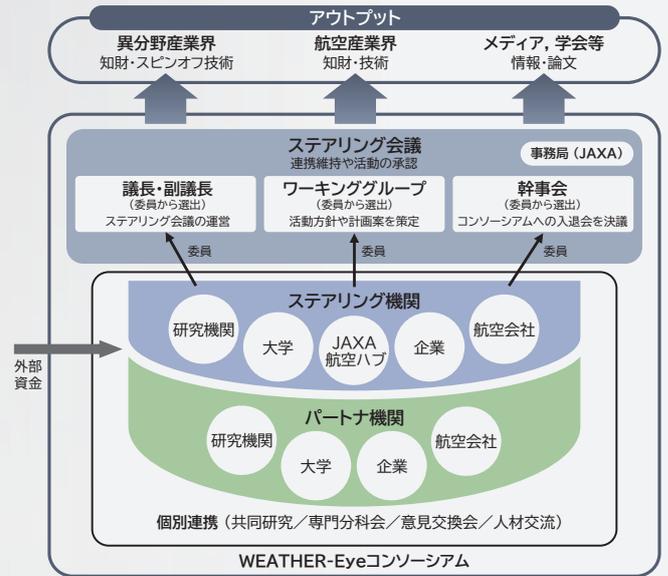
次世代技術で運航安全性、運航効率向上へ

WEATHER-Eye コンソーシアム

コンソーシアムには、運航会社・メーカ・大学・研究機関が集まり、航空工学の枠を超えて様々な分野の知見を糾合したイノベーションをオールジャパン体制で推進しています

活動の一環として、気象影響防御技術の研究開発の指針とする我が国としてのビジョンも策定しています

- 2015年 気象影響防御技術の研究開発 取り組み開始
- 2016年1月15日 気象影響防御技術の研究開発に関する連携協定 締結 気象影響防御技術コンソーシアム 設立 (別称: WEATHER-Eye コンソーシアム)
- 2019年11月改訂 (2016年10月初版策定) WEATHER-Eye ビジョン - 特殊気象から航空機を守る技術の開発と展望 - [第3版]



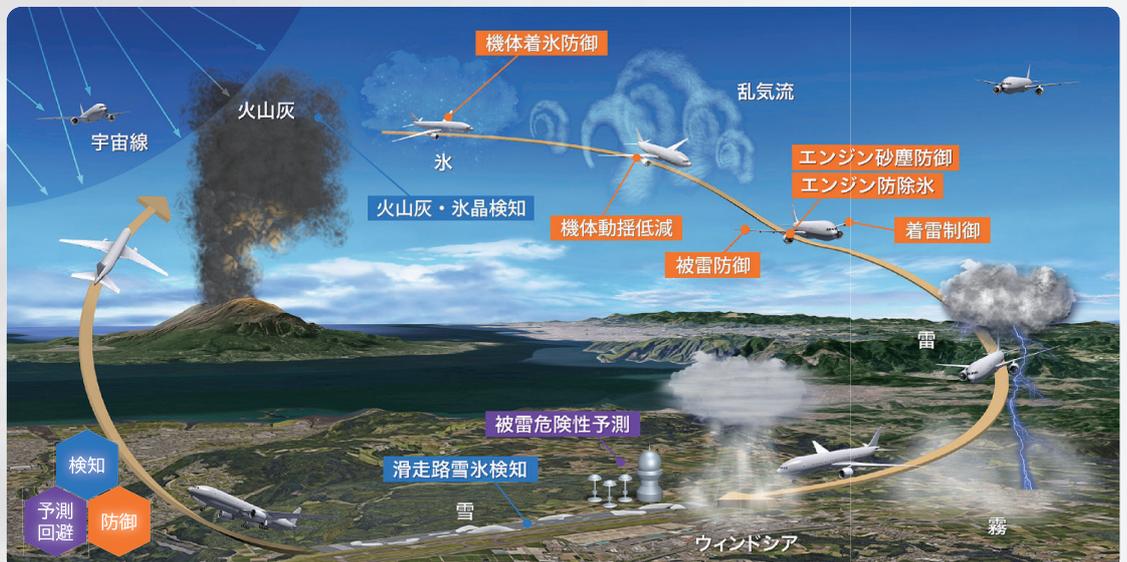
加盟機関 (全 43 機関) 2021.11 時点 ※五十音順

ステアリング機関 (23)

- 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
- 国立大学法人大阪大学
- 神奈川工科大学
- 関西大学
- 気象庁気象研究所
- 国立大学法人北見工業大学
- 国立大学法人熊本大学
- 株式会社 JAL エンジニアリング
- 株式会社 SUBARU
- 株式会社センテナ
- 全日本空輸株式会社
- 双日株式会社
- 国立大学法人東京大学
- 国立大学法人東京農工大学
- 学校法人東京理科大学
- 国立大学法人東北大学流体科学研究所
- 国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
- 国立大学法人名古屋大学ナショナルコンポジットセンター
- 日本航空株式会社
- 日本特殊塗料株式会社
- 国立研究開発法人防災科学技術研究所
- 首都圏レジリエンス研究推進センター
- 丸紅エアロスペース株式会社
- 国立大学法人山形大学

パートナ機関 (20)

- アドバンスソフト株式会社
- 株式会社 ikura AI
- 株式会社ウェザーニューズ
- AeroEdge 株式会社
- エスバック株式会社
- 株式会社エムティーアイ
- 札幌市立大学
- 株式会社 JALUX
- 大同大学
- DoerResearch 株式会社
- 日本アビオニクス株式会社
- 日本ペイント・サーフケミカルズ株式会社
- 福井県
- 古野電気株式会社
- 北海道大学大学院理学研究院
- 三菱重工業株式会社 民間機セグメント エンジニアリング室
- 三菱スペース・ソフトウェア株式会社
- 三菱電機株式会社 情報技術総合研究所
- メトロウェザー株式会社
- 山田技研株式会社



特殊気象 (雪氷・雷・火山灰・乱気流等) から航空機を守るため、機体・滑走路の状態や気象状況を検知し、予測・防御する気象影響防御技術



公式 HP はこちら
www.weather-eye.jp/